



市民助け合いネット

仲間通信

〔第44号〕

発行

NPO法人
市民助け合いネット
代表 鎌倉 常雄
〒270-0123 流山市若葉台3-131
☎ 04-7153-5733

私たちの仲間

令和4年12月末現在
総数 1,154名
提供会員 380名
利用会員 774名



令和4年のトピックス

- ①助け合い活動の利用料金改定。
18年間据え置いた利用料金を値上げしました。
- ②コロナ禍でも生活支援、ふれあいの家「えがお」
は提供会員・えがおスタッフで頑張ってます
- ③緑のカーテンコンクール銅賞受賞
「えがお」で丹精込めて育てました
- ④令和4年度社員総会開催
3年度活動報告、4年度活動方針承認される



- ⑤3年ぶりに子供向け交通安全教室再開
保育園、幼稚園児たちが楽しく参加してくれました
- ⑥指定管理者として初石公民館、南流山センター
の運営を受託しました。地域づくりに頑張ります
- ⑦自家用有償旅客運送事業の更新申請中
市の運営協議会を経て、千葉運輸局に申請中
- ⑧えがおスタッフ、利用者のクリスマスコンサート
三好英夫さんのご厚意で初石公民館で開催

今年で創立二十周年を迎えます。
会員一丸で更なる飛躍を目指そう！理事代表
鎌倉常雄

あけましておめでとうござ
います。今年も宜しくお願
いいたします。

本年は市民助け合いネット
にとって、創立二十周年の記
念すべき年になります。

「よくぞここまで頑張つてこ
れたな」と二十年間を感慨深
く振り返っているところです。

私たちの助け合い活動とふ
れあいの家「えがお」の元気
シニア作りを支えてくれてい
る提供会員の皆さまとご家族
の皆さまには、心より感謝い
たします。また、活動にご支
援いただいている流山市をは
じめ行政関係の皆さまや活動
に賛同いただきご支援、ご協
力いただいている市民団体並
びに自治会はじめ地域の皆々

様に感謝申し上げます。

今年には市民助け合いネット
にとって区切りの年として、
継続させるため、これまでの
足跡を振り返り活動を通して
培った高齢者支援活動の経験
とノウハウを活かすとともに
新型コロナウイルスとの闘いに
より大きく変化した社会・生
活環境に対して柔軟な思考と
体制で活動に取り組んでまい
ります。

本年を新たなスタートの年
として、まず取り組むテーマ
は「市民助け合いネットの若
返り」です。今日現在の活動
状況は、創立時からの提供会
員さんが現役で活躍しており、
このことは私どもが目指した

姿であり、いつまでも元気に頑
張っていただいている姿を拝見
し、人のため、社会のための社
会貢献に従事することで、いつ
までも若く、元気に生きる源と
なっていることを実感します。

しかしながら提供会員の高齢
化は進んでいます。ますます高
齢化が深刻化する現在、高齢者
支援に取り組むために組織は常
にリフレッシュし、若々しく活
力ある組織であることが必要で
す。市民助け合いネットは日常
生活で困ったときにはじめて認
知され、入会する方が後を絶ち
ませんが、生活支援の担い手で
あるボランティアに参加してい
ただきたい世代には認知されて
いません。

そこで二十周年の記念事業は、

高齢者支援活動にとどまらず流
山市の「安心・安全なまちづく
り」の取り組みを通して市民助
け合いネットを知ってもらいボ
ランティア活動に参加していた
だけの方、次の世代に引き継げ
る仲間を募ることに重点をおい
て取り組んでいきます。

直近の数年間を振り返つてみ
ても少子高齢化の流れに対応す
る取り組みとして「一億総活躍
社会の実現」に日本は舵を切つ
ていますが、働き方改革で七十
歳を過ぎても働ける社会になり
またボランティア活動も多岐に
わたっていることで趣味的、楽
しみを求めるボランティア活動
への関心、参加はみられるもの
の高齢者、障がい者の福祉活動
については、日常的な活動が求
められるため、それが活動参加
へのハードルになっているのが
実情でないでしょうか。

加えて、この三年間は新型コ

ロナとの闘いでこれまで営々と
築いてきた社会生活のしくみ、
生活文化が根底から崩れてしま
いました。

私たちの活動においても三密
防止、多人数での交流が出来な
くなり、助け合い活動、ふれあ
いの家の活動が大きく制約され
てしまいました。創立二十周年
記念行事も、これまでお世話に
なつた方をお招きして盛大に執
行したいところですが新型コロナウイルスの収束如何にかかっており、
今年中に皆さまと当たり前のお
付き合いが出来ることを祈るば
かりです。

市民助け合いネットは引き続
き「困ったときはお互い様」の
活動がますます広がり「安心・
安全のまちづくり」の一役を担
えるよう会員一丸となって頑張
つていきたいと考えています。

さて今年はどうな年でしょう。
卯（うさぎ）は穏やかで温厚な
性質であることから「家内安全」
また、その跳躍する姿から「飛
躍」「向上」を象徴するものとし
て親しまれてきました。

株式市場でも景気が上向きに跳
ねる、回復するといわれており、
縁起の良い年として知られてい
ます。他にも「植物の成長」と
いう意味もあり、新しいことに
挑戦するのに最適な年と言われ
ています。

さあ！皆さんも「ウサギ」のよ
うに大きく飛躍しましょう。

今年は昨年以上の活動で共に
喜びを分かち合える年にしてい
きましょう。

創立二十周年の振り返り

創立から二十周年を簡単に振り返ってみましょう。

高齢化時代を見据え、自分たちで出来る社会貢献はないか？そんな思いで地域の有志を募り会員同士の助け合い活動を行うNPO法人市民助け合いネットを2004年3月に立ち上げました。

●トイレ、水回りもない借家から活動スタート
東初石一丁目の個人宅の一角を借りて活動をスタートしました。



上：創立時の事務所
下：地域の有志でNPO法人立ち上げ

●助け合い活動がNHKで放映される活動の輪が全国的な広がりを見せる
私たちの助け合い活動がNHKの番組「ご近所の底力」として紹介され一躍、全国的に注目され、見学、問い合わせが殺到しました。



うつみみどりさんがレポーターで取材に訪れました。



●行政と市民の協働化事業として市民活動推進センターをはじめ公民館などの運営業務を始める

流山市と市民の協働化事業を専門家集団としての力を発揮して市民団体系支援や公民館およびロードレースなどの運営業務などを受託しました。



●創立十周年記念事業で事務所、ふれあいの家「えがお」建設する

創立十周年の記念事業として寄付を募り事務所兼ふれあいの家「えがお」を2014年に建設しました。「助け合い活動」と「えがお」による元気シニア作りの二つの柱の活動がスタートしました。



・事務所兼ふれあいの家外観
・「えがお」体操風景



福祉有償運送サービスのお知らせ

◆送迎サービスは提供会員の皆様のご協力で行っています。

今、利用会員の皆さんが利用されている車による送迎サービスの運行は国交省の道路交通法により自家用有償旅客運送事業の認証取得が義務付けられています。市民助け合いネットは移動困難者の足として平成18年(2006年)より国交省の認証を取得し運行しています。特に運転手登録いただいている提供会員の皆様のご協力により利用会員の方からの送迎依頼に応えることができています。

◆運転手を募集しています。身近な方をお誘いください。

運行事業者である市民助け合いネットは、令和5年3月に千葉県運輸局の更新審査を得て向こう3年間の事業継続が可能になります。現在、更新申請を進めています。登録車両数は、30台で申請しています。今後、送迎依頼はますます増えてきます。有償ボランティア運転手を募っています。是非、身近な方に声をかけてください。

◆飲酒運転防止のためアルコールチェックが義務付けされました。

飲酒運転防止対策として昨年よりアルコールチェッカーによる始業・終業時にアルコール検知チェックが義務付けられました。登録運転者の皆さんには煩わしい対応ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



利用者の発案でえがお文化祭開催



●新型コロナウイルス禍で活動の大幅自粛を余儀なくされる

新型コロナウイルス感染症の蔓延で日常の行動に制約を受け、私たちの活動も自粛を余儀なくされましたが提供会員、えがおのスタッフの皆さんは新型コロナウイルス禍でも積極的に活動に協力してくれました。



上：えがお2万人達成者お祝い
下：えがおの麻雀風景



上：朝鮮日報の番組取材風景
下：千葉県多古町市民団体メンバー

●「えがお」来場者が4年間で2万人を超え、各イベント大盛況

●関東近隣の行政、市民団体をはじめ韓国、インドネシアから高齢者支援活動の視察相次ぐ

卯年豆知識(主な出来事)

- 1951 サンフランシスコ平和条約締結
- 1963 初の原子力発電成功
テレビアニメ第一号「鉄腕アトム」放映
- 1975 サイゴン陥落によりベトナム戦争終結
- 1987 地価が異常高騰。銀座で1坪1億円突破
- 1999 金融再編(住友、さくら、第一勧銀など)
犬型ロボット「アイボ」ヒット
- 2011 東日本大震災 なでしこJP W杯優勝
歴史的円高一時1ドル=75円32銭

事務所からのお知らせ

提供者さんへ ★市の支援券は月締めのため、早めに事務所にもってきてください。 ★送迎の始業時、終業時のアルコールチェックをお願いします。 ★時節柄、事務所内はマスク、消毒、3密対策にご協力ください。	利用者さんへ ◇助け合いの依頼はお早めに。直前の依頼は、お断りすることもあります。 ◇依頼は必ず、事務所を通してください。 ◇降雪の時は安全を考慮し、送迎をお断りすることがあります。 ◇雪かきは人出不足により、出来ません
--	--